

QOLの向上をめざした ミキサー食、ラコール半固形剤などの 半固形状流動食を用いた在宅胃瘻栄養管理

長野県立こども病院 外科

高見澤 滋

胃瘻からの半固形状流動食の投与は、液体栄養剤による下痢、胃食道逆流症、ダ
ンピング症候群などのいわゆる液体栄養剤症候群を改善させられる方法として近年
広く行われるようになってきた。半固形状流動食には液体栄養剤に半固形化剤を加
えて半固形化したもの、すでに半固形化した状態で販売(食品)、処方(医薬品)さ
れるもの、食事をブレンダーなどで半固形化したミキサー食などがある。在宅で半
固形状流動食を用いる場合、コスト負担を軽減させるために医薬品に区分される液
体栄養剤を半固形化して使用することがあるが、液体栄養剤の中にはセレン、ヨウ
素、カルニチンなどの微量元素、必須栄養素を含まないものもあるためこれらの欠
乏症に注意して使用する必要がある。半固形化栄養剤は液体栄養剤を半固形化する
手間がなく簡便に使用できるが、医薬品であるラコール半固形剤以外は食品に区分
される栄養剤のため購入コストがかかる。食事をを用いたミキサー食は調理の手間は
かかるが、バランス良い食材を用いることで、微量元素、必須栄養素、食物繊維な
どの欠乏を起しにくい半固形状流動食といえる。在宅で胃瘻からミキサー食を投
与する場合、使用する半固形状流動食(ミキサー食)は家族が食べる食事と同じも
のをを用いるため、家族・介護者の満足度は高く理想的な半固形状流動食と言える。
当院で行っているミキサー食を用いた在宅胃瘻栄養の進め方、手技の実際、効果に
ついて概説する。